

資料2

令和 8 年 月 日

受付欄 (記載不要)

R 8 - 1 -

公益財団法人石川県産業創出支援機構
理事長 田中 新太郎 様

<申請者>	
郵便番号 〒	920-8203 (要ハイフン入力)
登記住所・所在地	金沢市鞍月2丁目20番地
企業名又は屋号	株式会社いしこ商事
代表者職・氏名	代表取締役社長 ・ 石川 太郎

※郵便番号は半角数字
※市町村名から記載
※姓名の間は全角スペース

令和8年度 成長戦略
地域資源活用・社会課題解決支援
【新商品・新サービス開発支援事業】

事業区分	1
------	---

事業区分	助成内容(助成限度額、助成率、助成期間)
地域資源活用	1 新商品・新サービスの開発・販路開拓支援 小規模企業者等 《助成限度額：3,000千円、助成率：2/3以内、助成期間：交付決定日より3年以内》
	2 新商品・新サービスの開発・販路開拓支援 小規模企業者等 《助成限度額：1,500千円、助成率：3/4以内、助成期間：交付決定日より3年以内》
	3 事前調査支援 中小企業者・組合等 《助成限度額：500千円、助成率：定額、助成期間：交付決定日より1年以内》
	4 事前調査支援 4者以上のグループ 《助成限度額：1,000千円、助成率：定額、助成期間：交付決定日より1年以内》
	5 海外に向けた商品の開発・改良・販路開拓支援 《助成限度額：5,000千円、助成率：2/3以内、助成期間：交付決定日より3年以内》
	6 大学・公設試等と連携した新商品・新サービスの開発・販路開拓支援 《助成限度額：10,000千円、助成率：2/3以内、助成期間：交付決定日より3年以内》
社会課題解決	7 新商品・新サービスの開発・販路開拓支援 中小企業者等 《助成限度額：3,000千円、助成率：2/3以内、助成期間：交付決定日より3年以内》
	8 新商品・新サービスの開発・販路開拓支援 小規模企業者等 《助成限度額：1,500千円、助成率：3/4以内、助成期間：交付決定日より3年以内》

※プルダウンリスト(▼タブ)から
申請する事業区分を選択してください。

【提出書類】

- 事業計画書
- 直近2期分の決算書等
- 同意書(4者以上のグループ、または事業区分6の申請のみ)
- 経営革新計画書の認定の写し(該当者のみ)

●パートナーシップ構築宣言の内容が記載された文書
※中小企業、小規模企業者の定義、提出書類・方法等

※発行責任者、発行担当者の氏名と
それぞれの連絡先を記載してください。

発行責任者: 石川 太郎	連絡先: 076-000-0000
発行担当者: 石川 次郎	連絡先: 076-000-0000

1. 申請企業概要 (必ず1枚にまとめること)

1	企業名又は屋号	(フリガナ)	カブシキガイシャイシコショウジ		
		(漢字等)	株式会社いしこ商事		
2	代表者職・氏名 ※採択通知書で使用 し ま す	役職	代表取締役社長		
		氏名	(フリガナ)	イシカワ タロウ	
			(漢字等)	石川 太郎	
3	業 種	大分類	E製造業		
		中分類	21 窯業・土石製品製造業		
4	創業・設立年 (西 暦)	1 2 3 5	年		
5	資 本 金	1 2, 3 4 5	千円	個人事業主の場合、「0」と記入	
6	常時使用する従業員 数	1 0	人	個人事業主の場合、本人及び同居の親族従業員を除く	
7	直近決算期(1年間) の売上高	1, 2 3 4, 5 6 7	千円	(令和 7 年 1 2 月期)	
【助成事業の主たる事業実施場所】					
8	所 在 地	〒	920-8203	(要ハイフン入力)	
		住所	金沢市鞍月2丁目20番地		
9	事 業 所 名	株式会社いしこ商事			
10	電 話 番 号	076-000-0000			(要ハイフン入力)
【採択通知等に係る本件担当者情報】 ※申請内容の確認等で連絡する場合がありますので、必ず申請企業内の休業中等でも確実かつ速やかに連絡を取れ、回答できる方の連絡先を記載してください。					
11	担 当 者 氏 名 役 職	役職	専務取締役		
		氏名	石川 花子		
12	書 類 送 付 先	〒	920-8203	(要ハイフン入力)	
		住所	金沢市鞍月2丁目21番地		
13	携 帯 電 話 番 号	000-0000-0000			(要ハイフン入力)
14	メー ル ア ド レ ス	isico@isico.jp ※プルダウンリスト(▼タブ)で「○」「×」を選択してください。			
15	同 意 書	○	4者以上のグループ申請、または事業区分6で申請される場合は、別紙1を忘れずに作成してください。		

※計画1に記入の内容が自動入力されます。

※計画1に記入の内容が自動入力されます。

※プルダウンリスト(▼タブ)から業種を選択してください。

※郵便番号は半角数字
※市町村名から記載
※電話番号は半角数字

※姓名の間は全角スペース
※郵便番号は半角数字
※市町村名から記載
※電話番号は半角数字
※メルアドは半角

2. 助成対象事業（取組）の事業計画【概要版】

- ※ 要点を簡潔に記載し、必ず本資料1ページに事業計画【概要版】をまとめてください。
- ※ 記載内容を補足する写真や図、根拠データ等は、詳細版（次紙）に追加してください。

事業計画名 (30字程度)	石川県の伝統工芸●●を活用した××の新商品開発・販路開拓事業 ※30文字程度で申請する事業計画名を記載してください。 採択された際に、公表される可能性があります。
活用する地域資源 (事業区分1～6)	九谷焼など ※地域資源活用(事業区分1～6)で申請する場合は、 公募要領の「石川県地域産業資源一覧」を参考に 主要な資源を記載ください。
取り組む社会課題 (事業区分7～8)	地域活性化関連 その他を選択された方は下記に記載して下さい ※社会課題解決(事業区分7, 8)で申請する場合は、 プルダウンリスト(▽タブ)から取り組む社会課題を選択してください。 その他を選択された方は、取り組む社会課題を記載してください。
事業実施予定期間	令和 8 年 9 月 1 日 ~ 令和 11 年 8 月 31 日

取組背景 ・これまでの歩み(沿革) ・現在直面している課題 ・本事業に取組む必要性や 目標(狙い)等 簡潔に記載 (100～200字程度)	当社は、△△を営んでおり独自の□□技術を強みとして自社商品・・・は、大きく売上を伸ばしたが、海外からの安価な類似品により売上減少が続き・・・に依存したビジネスからの脱却が課題となっています。 こうした中、取引先から伝統工芸●●の技術を活用して・・・できないか、との依頼がきっかけで、従来にはなかった新たな機能性を提案できる◆◆の開発を思い至りました。今後は、◆◆を当社の主力商品とすることを目指します。 ※4者以上のグループ申請の場合は「グループ申請に至った経緯」を記載ください。 ※社会課題解決(事業区分7, 8)で申請する場合は、 社会課題の現状と解決方法を記載ください。 ※詳細は、[計画4(詳細版)]取組背景欄に記載してください。
取組内容 本事業の内容を簡潔に記載 (100～150字程度)	・・・や・・・など顧客が求める用途に応じて、△種類のバリエーションで新商品「・・・」を開発し、まずは・・・をターゲットとして販路開拓を行い、将来的には・・・と連携した営業戦略と広報戦略を組み合わせることで全国市場での販路拡大を図る。 ※詳細は、[計画4(詳細版)]取組内容(ア～オ)欄に記載してください。
期待される成果 自社の売上目標数値を盛り込んで成果を記載 (100～200字程度)	□□の新技术の活用ノウハウを確立し、顧客が求める新たな用途にも対応すべく製品バリエーションを△種類までに拡充することを目標とします。その後、首都圏での販路拡大・自社ECサイトを開設し市場投入3年目には当社売上全体の9%を達成する計画です。 ※詳細は、[計画5(事業実施計画・目標)、[計画6(企業全体の収支計画・本事業の販売計画)]に記載してください。

【事業計画書作成の際の留意点】

- ①文字の大きさ、色、書体、見だしなど、分かりやすいように変更しても構いません。
- ②定められた様式以外(別添資料など)は認めません。
- ③「計画(詳細版)」シート「3. 助成対象事業(取組)の事業計画【詳細版】」は最大5ページ以内としてください。

3. 助成対象事業(取組)の事業計画【詳細版】

※ 以下に概要版の内容を補足記入してください。

取組背景

※下記の内容等について、できるかぎり具体的に記載。

- ・ 自社のこれまでの歩み(沿革)
- ・ 事業(業務)内容・商材・主要顧客
- ・ 主力商品の近年の売上状況
- ・ 現在直面している自社の課題
- ・ 自社の強みや弱み、機会(追い風)や脅威
- ・ 本事業に取り組むきっかけや経緯、これまでの取り組み(事前調査やニーズ把握)、目標(狙い)等

- ・ 大学等連携(事業区分6)で申請する場合は、本事業に関連する下記について具体的に記載。
 - ア) 自社のこれまでの研究・開発の状況
 - イ) 大学・公設試等連携先の名称と研究テーマ

- ・ 社会課題解決(事業区分7、8)で申請する場合は、下記についても具体的に記載。
 - ア) 取り組む社会課題の現状
 - イ) ア)の課題を解決する方法

※写真や図、根拠データ等を用いながら、適宜、セルの高さを調整して作成してください。

取組内容

ア) 開発する新商品・新サービスの概要

※現時点で想定している新商品・新サービスの完成イメージを説明。

例)

- ・ 製品名：×××商品

- ・ 想定価格：〇〇〇円(内容量・・・)

- ・ 特徴：どのような点が新しいのか、どのように優れているのか、販売方法や営業方法などの新しさも含めてアピールポイントを記載。

(海外に向けた商品の開発・改良・販路開拓支援(事業区分5)で申請する場合は、海外での事業実績、販路なども記載。)

(大学公設試等と連携した新商品開発支援(事業区分6)で申請する場合は、共同研究テーマの概要と開発技術の新規性・革新性を記載。)

具体的なイメージ
図や写真・イラスト
など

イ) ターゲット市場と顧客に対する価値

※下記の内容等について記載。

- ・ターゲット市場（具体的な取引先・顧客）を想定した『根拠』（統計データ、顧客動向、事業活動から得られる情報等）
- ・新商品・新サービスが『ターゲット顧客にもたらす価値』



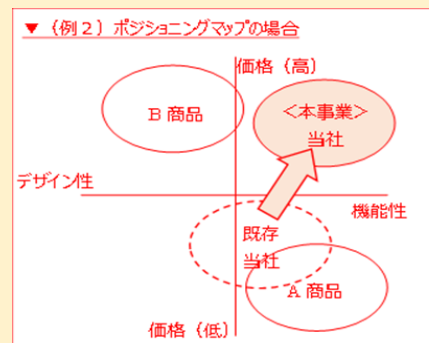
(海外に向けた商品の開発・改良・販路開拓支援(事業区分5)で申請する場合は、対象の国や都市ごとに具体的に記載。)

ウ) 競合他社・代替商品との差別化要素

※本事業商品の新規性・独自性や競合(代替)商品に対しての優位性など差別化ポイントを記載。

※下記のような(例1)比較表または、(例2)ポジショニングマップ等で比較分析。

比較項目	当社	競合他社(代替品A)	競合他社(代替品B)
イメージ	※イメージ画像	※イメージ画像	※イメージ画像
素材	天然●●● ※廃棄されていた資源を活用	化繊	天然
価格	9,000円程度	3,000円程度	10,000円程度
使用シーン	○△をする時に使用することも想定	○○をする時に使用	○○をする時に使用
顧客属性	比較的富裕層 エシカル思考 健康志向	大衆 使えれば良い と考えている層	富裕層 素材にこだわりを持つ ブランド志向



エ) 地域経済への波及効果 (100字以上)

※本事業が地域経済や社会へ与える効果を記載。

- ・石川県内の地域活性化や社会課題解決などに寄与する内容
- ・石川県内企業への経済的な波及効果 等

オ) 課題と対応策 (解決策)

※商品開発面、販路開拓面での課題と対応策(解決策)を具体的に説明。

ア) 商品開発面での課題・対応策

- ・試作品製造に関する課題
具体的な対応策・・・
- ・●●●の機能性向上に関する課題
具体的な対応策・・・
- ・パッケージデザインに関する課題
具体的な対応策・・・
- ・試作品のモニター調査・改良に関する課題
具体的な対応策・・・

イ) 販路開拓面(販売可能性)での課題・対応策

- ・広告・宣伝媒体の製作
具体的な対応策・・・
- ・専門知識を持った代理店の発掘
具体的な対応策・・・
- ・●●業界の展示会出展
具体的な対応策・・・

4. 事業実施計画・目標

No.	実施内容	R8年度			R9年度								R10年度								R11年度						
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月		
1	試作品製造																										
2	●●●の機能性向上																										
3	パッケージデザイン																										
4	試作品のモニター調査・改良																										
5	広告・宣伝媒体の製作																										
6	販売開始（市場導入）																										
7	専門知識を持った代理店の発掘																										
8	●●業界の展示会出展																										
9																											
10																											

※上記の事業目標と共に簡単な計画内容を説明する。

- 採択年度、.....
- 1年目、.....
- 2年目、.....
- 3年目、.....

5. 事業実施体制

※どのような体制で事業を実施するのかを社内、利害関係者を含め簡潔に説明下さい。

〈製品開発体制〉

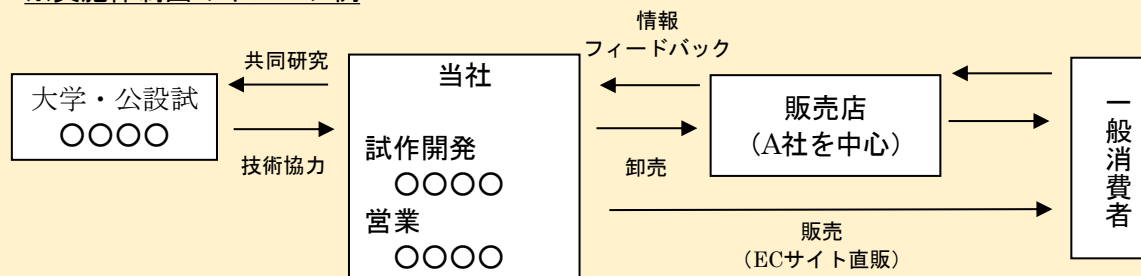
- 試作開発：当社
- 市場分析：
- 機能評価：

〈販路開拓体制〉

営業・広報：A社（〇〇市）

※自社以外との関係・商流が分かるように、下記のイメージ図を参考にして下さい。

※実施体制図のイメージ例



6. 企業全体の収支計画・本事業の販売計画

(単位：千円)

		R8年4月 ~R9年3月	R9年4月 ~R10年3月	R10年4月 ~R11年3月	R11年4月 ~R12年3月	R12年4月 ~R13年3月	R13年4月 ~R14年3月	
企 業 全 体	①全体売上高	285,000	280,000	285,000	293,000	303,000	314,000	
	既存事業の売上高	285,000	280,000	285,000	290,000	295,000	300,000	
	本事業の売上高	0	0	0	3,000	8,000	14,000	
	②売上原価	174,000	171,000	174,000	178,250	183,550	186,300	
	③売上総利益(粗利益) (①-②)	111,000	109,000	111,000	114,750	119,450	127,700	
	④販売費一般管理費	105,000	106,000	107,000	109,000	111,000	113,000	
	⑤営業利益 (③-④)	6,000	3,000	4,000	5,750	8,450	14,700	
	本事業のみ							
	㊦本事業売上 (A×B)	0	0	0	3,000	8,000	14,000	
	㊧売上比率(%) (㊦÷①)	0.00%	0.00%	0.00%	1.02%	2.64%	4.46%	
	A. 単価(円)	0円	0円	0円	3,000円	4,000円	3,500円	
	B. 数量	0	0	0	1,000	2,000	4,000	

※以下の財務指標も参考に上記の計画を作成してください。

※記載例は補助事業期間の3年目より新商品を販売開始した計画となっています。
 ※「単価」と「数量」には、本事業で開発する商品・サービスについて記載してください。
 ※計算式が入っているため、色がついた箇所のみ記載ください。

財務指標

売上高増加率		▲1.8%	1.8%	2.8%	3.4%	3.6%
売上高総利益率	38.9%	38.9%	38.9%	39.2%	39.4%	40.7%
売上高営業利益率	2.1%	1.1%	1.4%	2.0%	2.8%	4.7%

7. 助成金申請額

①経費明細書

※計画1(表紙)シートの内容が自動入力されます。

企業名又は屋号	株式会社いしこ商事
---------	-----------

(単位:円)

	経費項目	経費内容	経費(税込)	経費(税抜)
R8年度	従事者旅費	J R 東京往復	110,000	100,000
	印刷製本費	A 4 版チラシ作成(××部)	110,000	100,000
	委託費(試作開発)	□□	770,000	700,000
	委託費(事業)	□□	220,000	200,000
	原材料費(税率10%)		110,000	100,000
	原材料費(税率8%)		54,000	50,000
	大学・公設試等共同研究費			
			小計	1,374,000
R9年度	従事者旅費	J R 東京往復	440,000	400,000
	印刷製本費	A 4 版チラシ作成(××部)	110,000	100,000
	委託費(事業)	□□	220,000	200,000
	委託費(試作開発)	△△	550,000	500,000
			小計	1,320,000
R10年度	従事者旅費	J R 東京往復	440,000	400,000
	印刷製本費	A 4 版チラシ作成(××部)	110,000	100,000
	委託費(事業)	※※	440,000	400,000
	委託費(試作開発)	□□	550,000	500,000
			小計	1,540,000
R11年度	従事者旅費	J R 東京往復	220,000	200,000
	印刷製本費	A 4 版チラシ作成(××部)	220,000	200,000
	会場借料	※※	110,000	100,000
	会場整備費	○○	110,000	100,000
	委託費(試作開発)	■■	110,000	100,000
	委託費(事業)	△△	110,000	100,000
			小計	880,000
		合計	5,114,000	4,650,000

※経費項目はプルダウンリスト(マタブ)からを選択してください。

※軽減税率(8%)分は10%の経費と項目を二段に分けて入力して下さい。
※計算式は消費税率10%となっていますが、適宜変更して入力して下さい。

※事業区分6で申請される場合は、必ず「大学・公設試等共同研究費」を計上して下さい。

※本シートを作成する事で[計画7-2(助成金積算)シート(次のシート)]へ自動的に数字が反映されます。

② 助成事業に要する経費(概算)

	経費(税込)	経費(税抜)	助成金
R8年度	1,374,000	1,250,000	833,333
R9年度	1,320,000	1,200,000	800,000
R10年度	1,540,000	1,400,000	933,333
R11年度	880,000	800,000	433,334
合計	5,114,000	4,650,000	3,000,000

実際の助成金額は年度毎、経費区分毎に計算を行い、千円未満切捨てでの申請となる為、こちらの助成金額と誤差が生じます。

③ 経費区分表

(単位:円)

助成率 2/3

区分	経費項目	経費(税込)	経費(税抜)	助成金
事業費	専門家等謝金	0	0	
	従事者旅費	1,210,000	1,100,000	
	専門家等旅費	0	0	
	会場借料	110,000	100,000	
	会場整備費	110,000	100,000	
	印刷製本費	550,000	500,000	
	資料購入費	0	0	
	通信運搬費	0	0	
	調査研究費	0	0	
	パンフレット等作成費	0	0	
	広告宣伝費	0	0	
	通訳・翻訳料	0	0	
	雑役務費	0	0	
	保険料	0	0	
	借損料(事業)	0	0	
	知的財産権取得費	0	0	
	コンサルタント費(事業)	0	0	
	委託費(事業)	990,000	900,000	
	国際認証取得費	0	0	
小計	2,970,000	2,700,000	1,800,000	
試作・開発費	原材料費(税率10%、8%)	164,000	150,000	
	機械装置又は工具器具購入費	0	0	
	備品費	0	0	
	借損料(試作開発)	0	0	
	製造・改良・加工料	0	0	
	デザイン料	0	0	
	実験費	0	0	
	設計費	0	0	
	外注加工費	0	0	
	コンサルタント費(試作開発)	0	0	
	委託費(試作開発)	1,980,000	1,800,000	
	大学・公設試等共同研究費	0	0	
小計	2,144,000	1,950,000	1,300,000	
合計(A)	5,114,000	4,650,000		
		助成金合計額	3,100,000	
		助成金上限額	3,000,000	
		助成金申請額(B)	3,000,000	

※本シートで助成金申請額が算出されます。

※算出された助成金額をもとに下方にある、資金調達内訳をご記入ください。

④ 資金調達内訳

区分	金額	資金の調達先
助成金(B)	3,000,000	ISICO
自己資金	1,114,000	
借入金	1,000,000	
その他		
合計(A)	5,114,000	

※資金の調達先には助成金で足りない経費分の調達内訳を記入してください。
例) ◎◎銀行から借入

補助金交付を受けた実績及び当該年度の他の助成金への申請状況（予定含む）

〈過去2年以内に採択された補助金・助成金〉

なし あり

【補助金名】	
【事業計画名】	
【採択年月】	
【補助金名】	
【事業計画名】	
【採択年月】	
【補助金名】	
【事業計画名】	
【採択年月】	
【補助金名】	
【事業計画名】	
【採択年月】	
【補助金名】	
【事業計画名】	
【採択年月】	

〈その他認定など〉

【認定制度名】	
【認定計画名】	
【認定年月】	
【認定制度名】	
【認定計画名】	
【認定年月】	

〈現在申請中の補助金・助成金・その他認定など〉

〈県税等の納税状況（該当する箇所には☑）〉

滞納なし 滞納あり（詳細： _____ ）

令和 年 月 日

役員及び、株主一覧

<申請者> 登記住所・所在地 金沢市鞍月2丁目20番地
企業名又は屋号 株式会社いしこ商事
代表者職・氏名 代表取締役社長 ・ 石川 太郎

※計画1(表紙)シートの内容が自動入力されます。

令和 年 月 日現在の役員等

氏名	フリガナ	生年月日			性別	役職	現住所 (都道府県名から記載)	会社名 ※他社との兼務の場合	大企業 か否か	出資比 率(%)
		西暦	月	日						
石川 A太郎		2222	12	22	男	代表取締役会長	石川県金沢市鞍月2-20	●●製作所	○	40.5
石川 太郎					男	代表取締役社長	石川県金沢市鞍月2-20		×	20.0
石川 花子					女	専務取締役	石川県金沢市鞍月2-21		×	9.0
							石川県金沢市鞍月			
							石川県金沢市鞍月			
							石川県金沢市鞍月			
							石川県金沢市鞍月			

- 注 1. 名簿の記入対象者は次のとおりです。
法人：非常勤を含む役員（監査役含む）並びに支配人及び営業所の代表者
個人事業主：本人（従業員やアルバイトの方は除く）
2. 「現住所」欄には住民票記載の住所を記入してください。
3. 「大企業か否か」欄は、大企業（みなし大企業）の場合は○を、それ以外の方は×を選択してください。
4. 記入しきれない場合は、複数枚提出してください。
5. この役員名簿は、役員等が暴力団員等であるか否かを確認するためのみに使用し、その他の目的には一切使用しません。

令和 年 月 日現在の役員以外の株主等

株主名又は出資者名	現住所（都道府県名から記載）	会社名 ※他社との兼務の場合	大企業 か否か	出資比 率(%)
金沢 A太郎			×	10.0
金沢 B太郎			○	20.0
金沢 C太郎			×	0.5

同意書（4者以上のグループ、または事業区分6の申請用）

成長戦略ファンド 地域資源活用・社会課題解決支援枠 助成金に応募するにあたり、下記のとおり、各構成員がそれぞれに有する強み（ノウハウや技術、設備等の経営資源）を組み合わせることが当該事業の効果的な実施に不可欠であり、かつ、全構成員が役割分担や責任体制等について同意済であること、また、代表申請者は、全構成員を代表して、助成事業期間中の実績報告書や助成期間終了後の事業化状況報告書等、事務手続き上義務付けられた全ての書類を提出することに同意済であることを証明いたします。

【代表申請者】

NO.	企業名等	代表者名	住所	担当者名	電話番号	業種	有する強み	役割分担・責任	大企業が否か	
1	株式会社いしこ商事	石川 太郎	金沢市鞍月2丁目20番地	石川 花子	000-0000-0000	九谷焼製造・販売業	※各々が持っている ノウハウや技術、設備等の強みを記載	商品設計・企画等	×	
【構成員】										
2	わじま商事株式会社	輪島 太郎	輪島市鞍月2-20			九谷焼製造業		商品の試作開発	×	
3	ななお商事株式会社	七尾 太郎	七尾市鞍月2-20			釉薬・染料製造業		釉薬・染料の開発	○	
4	こまつ商事株式会社	小松 太郎	小松市鞍月2-20			デザイン業		デザイン開発	×	
5	かが商事株式会社	加賀 太郎	加賀市鞍月2-20			小売業		モニター調査等	×	
6										
7	〇〇大学	大学 太郎	金沢市市鞍月2-20	博士 教授		学部研究室名		研究開発での連携内容を記載		
8	〇〇試験場	研究 太郎	加賀市鞍月2-20	開発 太郎		担当部署名		研究開発での連携内容を記載		
9	※事業区分6で申請される場合は、開発の分野において連携する「大学・公設試等」を必ず記載して下さい。							※この事業を実施する上での各々の役割など記載		
10										

注 1. 「大企業が否か」欄は、大企業（みなし大企業）の場合は○を、それ以外の方は×を選択してください。